

事務事業評価シート

事務事業コード	029700	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不法投棄対策事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	不法投棄監視費			予算事業コード	01-04-02-02-06-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	不法投棄監視員による全市域の不法投棄監視体制
意図 (どのような状態にするために)	不法投棄への対策を講じ、不法投棄を未然に防止する
手段 (どうするのか)	多発する地帯に防止看板及び監視カメラを設置し、啓発を行う。 未然防止を目的に、全市域の不法投棄監視員によるパトロール等の監視体制の強化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	全市域(61地区)に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区)に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区)に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区)に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	全市域(61地区)に監視員を設置 不法投棄監視員の配置	
	年度別実績	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 356名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 356名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 353名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 353名	全市域 61地区に設置 不法投棄監視員体制 361名	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,011	9,738	8,895	9,170	8,916	
	直接経費 A	1,792	2,419	1,652	1,980	1,845	
	直接経費の財源内訳	国・県	37	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,754	2,419	1,652	1,980	1,845
一般財源	1	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	不法投棄監視員によるパトロール回数	回数	目標	2300	2300	2300	2300	2300
				実績	2335	2373	2746	2877	3440
	(指標の説明) 不法投棄監視員による年間パトロール回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8091</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】 不法投棄を未然に防止するため、平成17年10月から不法投棄監視員を設置し、監視体制を強化した。 また、不法投棄対策として、不法投棄が多発する地帯に防止看板・監視カメラ等を設置している。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(看板設置数)</th> <th>(不法投棄監視員)</th> <th>(監視カメラ設置数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>21枚</td> <td>61地区 353名</td> <td>29台</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>33枚</td> <td>61地区 353名</td> <td>29台</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>24枚</td> <td>61地区 361名</td> <td>29台</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 不法投棄を減らすことは、市の大きな課題である。地域を熟知し、不法投棄を監視し通報・対応する不法投棄監視員は、不法投棄を減少させるために必要不可欠であり、監視員の取り組みにより、不法投棄での対応件数や処理量は減少傾向にある。 今後も引き続き本制度を継続し、住民との協働で不法投棄の防止や発見及び迅速な処理等の対応に努めていく。</p>		(看板設置数)	(不法投棄監視員)	(監視カメラ設置数)	平成30年度	21枚	61地区 353名	29台	令和元年度	33枚	61地区 353名	29台	令和2年度	24枚	61地区 361名	29台
		(看板設置数)	(不法投棄監視員)	(監視カメラ設置数)													
平成30年度	21枚	61地区 353名	29台														
令和元年度	33枚	61地区 353名	29台														
令和2年度	24枚	61地区 361名	29台														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	不法投棄監視員によるパトロール回数	102%	103%	119%	125%	150%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も本制度を継続し、住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な処理対応に努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	029800	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ポイ捨て・歩行喫煙防止事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	直営
			0	0	会計区分	
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	何人も
意図 (どのような状態にするために)	公共の場所においてポイ捨てをしない
手段 (どうするのか)	モラルの向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		啓発ポスターの配布 路上マークの設置	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布	啓発ポスターの配布
年度別実績	啓発ポスターの配布 50件 路上マークの設置 0件 (交換対象の物件が発生しなかった)	啓発ポスターの配布 80件	啓発ポスターの配布 60件	啓発ポスターの配布 52件	啓発ポスターの配布 30件 犬のマナー啓発ポスターの配布 54件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				啓発ポスターの配布件数	枚	目標	100	100
1	(指標の説明) ポイ捨て等防止啓発ポスターの市民等への配布数	実績	50	80	60	52	84	
		目標	0	0	0	0	0	
2	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生活衛生係 0857-30-8083</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例」に基づき、公共の場所におけるポイ捨てを防止するため、モラルの向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 モラル向上の対策として、希望者に啓発ポスターを配布。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き事業を実施し、市民に対して啓発を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	啓発ポスターの配布件数	50%	80%	60%	52%	84%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>引き続き事業を実施し、市民に対して啓発を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	湖山池浄化対策事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4204	環境保全活動の推進				
目標の種別	湖山池中央部のCOD		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
			5.5mg	5.5mg	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	湖山池浄化対策費			予算事業コード	01-04-01-06-03-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖山池
意図 (どのような状態にするために)	市民が健康で快適な生活を営めるようにするため、市民・事業所・行政が一体となって湖山池の浄化を進め、生活環境の保全に努める。
手段 (どうするのか)	鳥取県と共同で湖山池の水環境の創造に向けて、「湖山池会議」を設置し、望ましい姿である「湖山池将来ビジョン」を策定するとともに、「第Ⅲ期水質管理計画」を策定し、管理計画に基づいて水質浄化事業を進めています。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	湖山池の巡視 アダプトの実施 推進委員会の開催 台所用ろ過袋購入助成	湖山池の巡視 アダプトの実施 推進委員会の開催 台所用ろ過袋購入助成	湖山池の巡視 プレミアムサロンの開催 アダプトの実施 推進委員会の開催	湖山池の巡視 プレミアムサロンの開催 アダプトの実施 推進委員会の開催	湖山池の巡視 プレミアムサロンの開催 アダプトの実施 推進委員会の開催	
	年度別実績	湖山池の巡視 30回 アダプトの実施 23回 推進委員会の開催 1回 台所用ろ過袋購入助成 105件	湖山池の巡視 30回 アダプトの実施 10回 推進委員会の開催 1回 台所用ろ過袋購入助成 14件	湖山池の巡視 30回 プレミアムサロンの開催 2回 アダプトの実施 16回 推進委員会の開催 1回	湖山池の巡視 30回 プレミアムサロンの開催 2回 アダプトの実施 11回 推進委員会の開催 0回	湖山池の巡視 30回 プレミアムサロンの開催 0回 アダプトの実施 9回 推進委員会の開催 1回	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	10,237	10,343	9,703	9,935	9,564	
	直接経費 A	3,018	3,024	2,460	2,745	2,493	
	直接経費の財源内訳	国・県	152	293	60	175	54
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	98	20	0	0	0
一般財源	2,768	2,711	2,400	2,570	2,439		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
1	湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	袋	目標		120	70	0	0	0
		実績			105	14	0	0	0
(指標の説明) 湖山池周辺の下水道未普及地域への台所用ろ過袋購入助成の数									
2	湖山池プレミアムサロンの開催数	回	目標		0	0	1	1	1
		実績			0	0	2	2	0
(指標の説明) 市民との情報共有の場である湖山池プレミアムサロンの開催数									
3			目標		0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 湖山池に巡視員を設置し、水質の監視を行う。 塩分濃度変化のモニタリングを行い、対策・効果を評価する際の基礎資料とする。 湖山池プレミアムサロンを開催し、市民と情報共有を図る。 湖山池の状況(水質、環境、事業等)を市民へ情報提供する。 湖山池アダプトプログラムによる清掃活動実施、市民と湖山池の環境保全を図る。 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 巡視員によるパトロール 湖山池の取組みを市民と情報の共有及び意見を参考にするプレミアムサロンを開催 高塩分化に伴う各種環境モニタリングの実施 モニタリング結果の意見、助言をいただくモニタリング委員会の開催 アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>湖山池浄化の取組みは重要施策であり、今後も市民との協働により事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 湖山池水質浄化のためのろ過袋購入助成の数	88%	20%			
	2 湖山池プレミアムサロンの開催数			200%	200%	
	3					

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況をふまえ、令和2年度の開催を見送った。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>湖山池浄化及び環境保全の取り組みは重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	037900	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	動物愛護管理推進事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 生活安全課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、鳥取市動物の愛護及び管理に関する条例
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg		
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	動物愛護管理推進事業費			予算事業コード	01-04-01-04-05-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	人と動物
意図 (どのような状態にするために)	「人と動物とが共生する社会の実現」を目指して動物愛護の推進を行う
手段 (どうするか)	①適正飼養の推進 ②譲渡・返還の推進 ③譲渡会事業の定着化

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 動物取扱業者を対象とした適正飼養の推進	動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 ・譲渡会事業の定着化	動物愛護の推進 ・適正飼養の推進 ・譲渡・返還の推進 ・譲渡会事業の推進	
	年度別実績			県東部の保健所として初めて直営の譲渡会を実施 動物取扱事業者を対象とした研修会の実施	保健所としての直営の譲渡会を継続実施 小学生を対象とした「犬舎見学会」を新規事業として実施	コロナ禍においてYouTubeを活用した譲渡事業を推進	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	41,245	48,123	55,253	
	直接経費 A	0	0	12,273	12,173	12,293	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	88	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3,106	3,289	3,591
	一般財源	0	0	9,079	8,884	8,702	
人件費 B	0	0	28,972	35,950	42,960		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	4.00	5.00	5.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	処分頭数を100頭以下とする。	頭	目標	0	0	100	100	100	
				実績	0	0	47	65	26	
	(指標の説明)									
	2	直接譲渡の頭数を5頭以上とする。	頭	目標	0	0	5	5	5	
				実績	0	0	8	30	36	
	(指標の説明)									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】動物愛護係 0857-30-8551</p> <p>【10次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P91 (健保009)</p> <p>【事業の概要】 人と動物の共生する社会の実現を図るため、動物の適正飼養についての普及啓発、動物取扱業・特定動物飼養者への指導を行うほか、負傷動物等の収容・管理、収容動物の譲渡促進を行う。</p> <p>【事業の成果】 ○コロナ禍において集客を伴う譲渡事業の実施が困難となるなか、新たにYouTubeを活用した譲渡事業を実施し保健所からの直接譲渡を推進した。 ○動物取扱責任者研修を実施し、動物取扱業者の資質向上及び令和元年6月に改正された動物の愛護及び管理に関する法律の周知を図った。</p> <p>＜数値実績＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鳥取県東部実績</th> <th>収容</th> <th>前年度 引継ぎ</th> <th>返還</th> <th>譲渡</th> <th>処分 ※</th> <th>死体 収容</th> <th>翌年度 引継ぎ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度 犬)</td> <td>45頭</td> <td>1頭</td> <td>30頭</td> <td>12頭</td> <td>0 (0) 頭</td> <td>1頭</td> <td>3頭</td> </tr> <tr> <td>猫)</td> <td>121頭</td> <td>9頭</td> <td>2頭</td> <td>51頭</td> <td>62 (33) 頭</td> <td>8頭</td> <td>7頭</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 犬)</td> <td>32頭</td> <td>3頭</td> <td>20頭</td> <td>14頭</td> <td>0 (0) 頭</td> <td>0頭</td> <td>1頭</td> </tr> <tr> <td>猫)</td> <td>87頭</td> <td>7頭</td> <td>2頭</td> <td>46頭</td> <td>26 (19) 頭</td> <td>17頭</td> <td>3頭</td> </tr> </tbody> </table> <p>※処分の () 内は、収容後に死亡した頭数</p> <p>【今後の課題・方向性】 動物の適正飼養の推進により、引取りなどによる収容頭数の減少を図り、やむを得ず収容した動物の譲渡をより一層推進する。</p> <p>※その他財源の手数料は、動物取扱業登録手数料等 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金等</p>	鳥取県東部実績	収容	前年度 引継ぎ	返還	譲渡	処分 ※	死体 収容	翌年度 引継ぎ	令和元年度 犬)	45頭	1頭	30頭	12頭	0 (0) 頭	1頭	3頭	猫)	121頭	9頭	2頭	51頭	62 (33) 頭	8頭	7頭	令和2年度 犬)	32頭	3頭	20頭	14頭	0 (0) 頭	0頭	1頭	猫)	87頭	7頭	2頭	46頭	26 (19) 頭	17頭	3頭
鳥取県東部実績	収容	前年度 引継ぎ	返還	譲渡	処分 ※	死体 収容	翌年度 引継ぎ																																		
令和元年度 犬)	45頭	1頭	30頭	12頭	0 (0) 頭	1頭	3頭																																		
猫)	121頭	9頭	2頭	51頭	62 (33) 頭	8頭	7頭																																		
令和2年度 犬)	32頭	3頭	20頭	14頭	0 (0) 頭	0頭	1頭																																		
猫)	87頭	7頭	2頭	46頭	26 (19) 頭	17頭	3頭																																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	処分頭数を100頭以下とする。			212%	153%	384%
	2	直接譲渡の頭数を5頭以上とする。			160%	600%	720%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	保健所から新しい飼い主に直接譲渡する5頭の目標に対し、年間38頭直接譲渡するなど目標を大幅に上回る成果があった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>コロナ禍において、犬猫譲渡会や犬猫管理所見学会を実施することが困難であったが、YouTubeを活用した譲渡促進事業は有効であったと考える。これからも人と動物が共生する社会の実現を目指し、動物愛護啓発事業を積極的に展開していく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	038000	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	廃棄物不法投棄対策強化事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課

1. 基本情報

位置づけ の 計画 の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
施策	4204	環境保全活動の推進				
実施 の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	廃棄物不法投棄対策強化事業費			予算事業コード	01-04-01-05-19-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取県東部地域（鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町及び智頭町）
意図 (どのような状態 にするために)	不法投棄事案及び廃棄物不適正処理事案の発生を未然防止する。 また、拡大・再発を防止するため、事案の早期発見に努める。
手段 (どうするのか)	廃棄物適正処理推進指導員の巡回による監視。 不法投棄多発地帯への監視カメラ及び無人警報装置の設置。 関係機関を構成員とした連絡協議会の開催、関係機関と合同でのパトロール実施。 不法投棄対策夜間パトロールの実施（警備会社への業務委託）。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			廃棄物適正処理推進指導員の巡回による監視 連絡協議会及び合同パトロールの実施 不法投棄対策夜間パトロールの実施	廃棄物適正処理推進指導員の巡回による監視 連絡協議会及び合同パトロールの実施 不法投棄対策夜間パトロールの実施	廃棄物適正処理推進指導員の巡回による監視 連絡協議会及び合同パトロールの実施 不法投棄対策夜間パトロールの実施	
	年度別実績			202回実施 連絡協議会：2回実施 合同パトロール：15箇所実施 198箇所	197回実施 連絡協議会：1回実施 合同パトロール：15箇所実施 204箇所	185回実施 連絡協議会：1回実施 合同パトロール：15箇所実施 204箇所	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	12,826	13,214	11,411	
	直接経費 A	0	0	3,537	4,001	4,340	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	2,691	2,770	3,057
	一般財源	0	0	846	1,231	1,283	
人件費 B	0	0	9,289	9,213	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数	回	目標	0	0	194	194	194	
				実績	0	0	202	197	185	
	(指標の説明) 廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数									
	2	合同パトロールでの確認箇所数	箇所	目標	0	0	15	15	15	
				実績	0	0	15	15	15	
	(指標の説明) 合同パトロール実施回数									
3	夜間パトロールでの確認箇所数	箇所	目標	0	0	198	204	204		
			実績	0	0	198	204	204		
(指標の説明) 夜間パトロール実施回数										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 指導係 0857-30-8092</p> <p>【10次総の施策体系】 4204</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P49（環007）</p> <p>【事業の概要】 不法投棄事案及び廃棄物不適正処理事案の監視・指導のための人員配置や監視カメラ・警報装置の設置、自治体・警察などの関係機関との情報共有や合同での活動を行うことにより、不法投棄等の事案の未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(1) 平成30年度 ①廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数 202回 ②合同パトロールでの確認箇所 15か所（3か所/回×5回） ③夜間パトロールでの確認箇所 198か所（33地域×6回）</p> <p>(2) 令和元年度 ①廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数 197回 ②合同パトロールでの確認箇所 15か所（3か所/回×5回） ③夜間パトロールでの確認箇所 204か所（34地域×6回）</p> <p>(3) 令和2年度 ①廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数 185回 ②合同パトロールでの確認箇所 15か所（3か所/回×5回） ③夜間パトロールでの確認箇所 204か所（34地域×6回）</p> <p>【今後の課題・方向性】 近年、不法投棄発見件数は緩やかな減少傾向にあるが、依然として高水準で推移している。引き続き昼夜のパトロール活動、監視カメラ等の設置により、不法投棄の未然防止、拡大防止を図るとともに、連絡協議会の開催、合同でのパトロール実施により関係機関との連携を強化し、不法投棄等の事案を発生させない環境づくりの実現に取り組む。</p> <p>※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	廃棄物適正処理推進指導員による巡回回数			104%	102%	95%
	2	合同パトロールでの確認箇所数			100%	100%	100%
	3	夜間パトロールでの確認箇所数			100%	100%	100%

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>今後も取り組みを継続し、不法投棄事案及び廃棄物不適正事案の未然防止に努める。また、日頃から事案の早期発見に努めるとともに、発生時には拡大・再発防止のため初期対応を迅速に行う。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038100	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	PCB廃棄物処理対策推進事業		所属名	市民生活部環境局 廃棄物対策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	PCB廃棄物処理対策推進事業費			予算事業コード	01-04-01-05-19-06

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内及び東部四町のPCB廃棄物保管使用事業者
意図 (どのような状態にするために)	PCB廃棄物の適正保管及び期限内処理の指導を行い、確実かつ適正な処理の推進を図り、もって市民及び町民の健康の保護及び生活環境の保全を図ることを目的とする。
手段 (どうするのか)	PCB特措法に基づき、未把握PCB廃棄物等の掘り起し、PCB廃棄物等に係る届出の受理、PCB廃棄物等の適正保管及び早期処理の指導、また、それらの徹底のための立入検査を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			低濃度PCB汚染機器処理経費補助 PCB廃棄物等関係届出受理 PCB廃棄物等保管業者への立入検査	高濃度PCB含有安定器の掘り起し調査 PCB廃棄物等関係届出受理 PCB廃棄物等保管使用事業者への立入検査	PCB廃棄物等保管使用事業者等への立入検査 PCB廃棄物関係届出受理	
	年度別実績			低濃度PCB汚染機器処理経費補助 14事業者34台 PCB廃棄物等保管処分状況届出 118件 PCB廃棄物等保管使用事業者への立入検査 延べ107件	調査票送付件数及び新規把握事業者数 2,934件のうち18件 PCB廃棄物等保管処分状況届出 100件 PCB廃棄物等保管使用事業者への立入検査 延べ89件	PCB廃棄物等保管使用事業者等への立入検査 延べ209件 PCB廃棄物当保管処分状況届出 延べ73件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	9,252	13,397	12,069	
	直接経費 A	0	0	2,009	6,207	4,998	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,004	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	377	0
一般財源	0	0	1,005	5,830	4,998		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	高濃度PCB廃棄物の処分台数(汚染物除く)	台	目標	0	0	339	428	386	
				実績	0	0	24	42	212	
	(指標の説明) 目標値:前年度末時点で処分が必要な機器の台数。実績値:前年度中に処分された台数。									
	2	低濃度PCB廃棄物の処分台数(汚染物除く)	台	目標	0	0	282	221	99	
実績				0	0	78	122	20		
(指標の説明) 目標値:前年度末時点で処分が必要な機器の台数。実績値:前年度中に処分された台数。										
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】 指導係 0857-30-8092</p> <p>【10次総の施策体系】 4204</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成13年度に制定(平成28年度改正)されたPCB特措法及び国基本計画に基づき、自治体の責務として未把握PCB廃棄物等の掘り起こし、PCB廃棄物等の保管(所有)事業者への届出の徹底及び早期処理の指導を行ってきた。令和元年よりPCB使用安定器の掘り起こし調査を実施しており、期限内(令和3年3月末迄)処分の指導を継続している。</p> <p>【事業の目的及び効果】 PCB廃棄物の早期適正処理のため、保管事業者に対する指導や立入検査を実施し、また、漏れのない確実な期限内処理に向け、未把握の高濃度PCB廃棄物の掘り起こしを行うことで住民の健康保護及び生活環境の保全を図る。また、代執行による不測の事態に備える。</p> <p>【事業の内容】 ① 行政代執行委託 ② 高濃度PCB含有安定器及び汚染物の掘り起こし ③ PCB廃棄物保管業者への早期処理指導(立入検査、使用中機器等の把握等)</p> <p>【事業の実績】 平成30年度(29年度末時点)届出により把握した処分数(八頭郡及び岩美郡含む) 高濃度PCB機器 24台 低濃度PCB機器 78台 ※汚染物等は除く 令和元年度(30年度末時点)届出により把握した処分数(八頭郡及び岩美郡含む) 高濃度PCB機器 42台 低濃度PCB機器 122台 ※汚染物等は除く 令和2年度(1年度末時点)届出により把握した処分数(八頭郡及び岩美郡含む) 高濃度PCB機器 212台 低濃度PCB機器 20台 ※汚染物等は除く ※その他財源の諸収入は代執行弁償費</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	高濃度PCB廃棄物の処分数(汚染物除く)			7%	10%	55%
	2	低濃度PCB廃棄物の処分数(汚染物除く)			28%	55%	20%
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	掘り起こし調査により新たに発見されたPCB廃棄物もあったが、令和2年度の処理期限に向け多くの保管事業所が処理に着手した。中小事業者については、処理に係る書類の作成等をサポートし、手続きが円滑に進むように支援を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>○PCB廃棄物等は処理期限が定められているため、期限内処理に向け、PCB廃棄物等保管・使用事業者に対する指導や該当機器の調査等を引き続き行っていく事が重要。 ○処理期限経過後に発見される機器等については、保管事業者への改善命令や、行政による代執行の実施等も視野に、特例処分期限日までに確実にPCB廃棄物の処分が行われるよう、事務を進める必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038200	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	水質・土壌対策事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法等
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の 目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	水質・土壌対策費		予算事業コード	01-04-01-06-02-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするか)	公共用水域の常時監視等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画			公共用水域の常時監視 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入	公共用水域の常時監視 事業場への立入	
	年度別実績			公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 10件	公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 14件	公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 15件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	26,165	27,386	27,641	
	直接経費 A	0	0	20,371	21,634	21,984	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	20,371	21,634	21,984	
人件費 B	0	0	5,794	5,752	5,657		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.80	0.80	0.80	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		水質汚濁防止法第22条に基づく事業場立入件数	件	目標	0	0	10	15	15	
			実績	0	0	10	14	15		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】市域について、水質汚濁防止法・土壌汚染対策防止法等に基づく事務を行う。</p> <p>【事業の成果】河川、湖沼及び地下水等の水質汚濁防止のため、公共用水域の常時監視・事業場の立入検査を実施した。土壌汚染の状況を把握し、土壌汚染による健康被害の防止に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後も法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	水質汚濁防止法第22条に基づく事業場立入件数			100%	93%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038201	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	水質・土壌対策事業(東部四町)		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	水質汚濁防止法、土壌汚染対策法等
施策	4204	環境保全活動の推進				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東部四町域住民
意図 (どのような状態にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするか)	公共用水域の常時監視等を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 公共用水域の常時監視 事業場への立入	平成31年度 公共用水域の常時監視 事業場への立入	令和2年度 公共用水域の常時監視 事業場への立入	
	年度別実績			公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 16件	公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 16件	公共用水域の常時監視 事業場への立入件数 14件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,912	9,695	9,600	
	直接経費 A	0	0	7,463	8,257	8,186	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	5,885	8,257	8,186
	一般財源	0	0	1,578	0	0	
人件費 B	0	0	1,449	1,438	1,414		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		水質汚濁防止法第22条に基づく事業場立入件数	件	目標	0	0	16	16	13	
				実績	0	0	16	16	14	
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】東部四町域の水質汚濁防止法・土壤汚染対策防止法等に基づく事務を行う。</p> <p>【事業の成果】河川、湖沼及び地下水等の水質汚濁防止のため、公共用水域の常時監視・事業場の立入検査を実施した。土壤汚染の状況を把握し、土壤汚染による健康被害の防止に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後とも法令等に基づき、住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	水質汚濁防止法第22条に基づく事業場立入件数			100%	100%	108%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>中核市移行に伴い東部四町域の事務委託を受け、同域の水質汚濁防止法・土壤汚染対策法等に基づく事務を行うこととなった。今後とも法令等に基づき住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038300	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	騒音・振動・悪臭対策事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	~
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	騒音規制法、振動規制法、悪臭 防止法
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	騒音・振動・悪臭対策費			予算事業コード	01-04-01-06-02-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市民の快適な生活を保持するため
手段 (どうするか)	自動車騒音の常時監視、悪臭測定等を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 自動車騒音常時監視	平成31年度 自動車騒音常時監視	令和2年度 自動車騒音常時監視	
	年度別実績			自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,278	8,068	7,635	
	直接経費 A	0	0	2,484	2,316	1,978	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	2,484	2,316	1,978	
人件費 B	0	0	5,794	5,752	5,657		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.80	0.80	0.80	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		自動車騒音常時監視業務における対象区間数	区間	目標	0	0	20	22	20	
				実績	0	0	20	22	20	
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】市域について、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法に基づく事務を行う。</p> <p>【事業の成果】各公害防止関連法令に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後も法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	自動車騒音常時監視業務における対象区間数			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も法令等に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努め、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038301	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	騒音・振動・悪臭対策事業(東部四町)		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 実施の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	騒音規制法
施策	4204	環境保全活動の推進				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	東部四町域住民
意図 (どのような状態 にするために)	市民の快適な生活を保持するため
手段 (どうするか)	自動車騒音の常時監視を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 自動車騒音常時監視	平成31年度 自動車騒音常時監視	令和2年度 自動車騒音常時監視	
	年度別実績			自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視	自動車騒音常時監視	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	2,367	2,120	2,041	
	直接経費 A	0	0	918	682	627	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	918	682	627
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	0	1,449	1,438	1,414		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		自動車騒音常時監視業務における対象区間数	区間	目標	0	0	5	2	5	
			実績	0	0	5	2	5		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】東部四町域の騒音規制法に基づく事務を行う。</p> <p>【事業の成果】騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視にかかる業務を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後とも法令等に基づき、住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。 ※その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	自動車騒音常時監視業務における対象区間数			100%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>中核市移行に伴い、東部四町域の事務委託を受け、同域の騒音規制法に基づく自動車騒音常時監視にかかる事務を行うこととなった。今後とも法令等に基づき、公害発生の監視及び未然防止に努め、住民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038400	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	大気汚染物質調査事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課	

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 目標の	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	大気汚染防止法
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	大気汚染物質調査事業費			予算事業コード	01-04-01-06-02-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするのか)	大気汚染物質の常時監視及び事業場の行政検査を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			行政検査の実施	行政検査の実施	行政検査の実施	
	年度別実績			行政検査の対象事業 場数 4件	行政検査の対象事業 場数 5件	行政検査の対象事業 場数 5件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	16,267	23,622	22,444	
	直接経費 A	0	0	9,024	16,432	15,373	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	9,024	16,432	15,373	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	行政検査の対象事業場数	数	目標	0	0	3	3	3	
				実績	0	0	4	5	5	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】4204</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】大気汚染防止法に基づき、環境汚染の防止又はその除去等に関する施策を実施する。</p> <p>【事業の成果】大気汚染防止法に基づき、大気汚染状況の常時監視等を行い、公害発生の未然防止に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	行政検査の対象事業場数			133%	167%	167%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>中核市移行に伴い、大気汚染防止法に基づく事務を行うこととなった。今後とも法令に基づき、大気汚染の常時監視及び事業場の行政検査を行い、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	038500	重点施策	該当なし	令和2年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	環境汚染化学物質対策事業		所属名	市民生活部環境局 生活環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	ダイオキシン類対策特別措置法
施策	4204	環境保全活動の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	湖山池中央部のCOD		5.5mg	5.5mg	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	環境汚染化学物質対策事業費			予算事業コード	01-04-01-06-02-05

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び東部四町域住民
意図 (どのような状態にするために)	健康保護及び生活環境を保全するため
手段 (どうするのか)	大気・水質・土壌のダイオキシン類による汚染状況の常時監視及び事業場の行政検査を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			行政検査の実施	行政検査の実施	行政検査の実施	
	年度別実績			行政検査の対象事業場数 5件	行政検査の対象事業場数 3件	行政検査の対象事業場数 3件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	11,995	11,024	10,909	
	直接経費 A	0	0	4,752	3,834	3,838	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	794	640	641
	一般財源	0	0	3,958	3,194	3,197	
人件費 B	0	0	7,243	7,190	7,071		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	行政検査の対象事業場数	数	目標	0	0	3	3	3	
				実績	0	0	5	3	3	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和2年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 環境保全係 0857-30-8084</p> <p>【10次総の施策体系】 4204</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事務を行う。</p> <p>【事業の成果】 大気・水質・土壌のダイオキシン類による汚染状況について常時監視を行い、公害発生の監視及び未然防止に努めた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも法令等に基づき、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	行政検査の対象事業場数			167%	100%	100%
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>中核市移行に伴い、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく事務を行うこととなった。今後とも法令に基づき、大気・水質・土壌のダイオキシン類による汚染状況の常時監視及び事業場の行政検査を行い、市民の快適な生活を保持する取り組みを進めていく。</p>		